

3. 防災まちづくりの目標、方針、計画

安全で安心できるまちづくりに向けては、建物のこと、避難のこと、ご近所づきあいのこと等、さまざまな課題を解消する必要があります。栗田学区では、めざすべき「目標」のもと、大切にしたい「5 つの方針」、そして、具体的に取り組んでいく「9 つの計画」を定め、防災まちづくり計画としました。

目標

栗田学区らしい街並みや路地、地域のつながりを大切にしながら意識を高め、みんなで取り組む防災まちづくり

5つの方針と9つの計画

方針
1 隣近所、住民どうし
コミュニケーション
が弾む「普段から顔の
見える関係づくり」

計画
1 防災、防犯について、定期的に話し合う機会をつくるとともに、ふだんから気軽なコミュニケーションが弾むように、縁側のような場所を育みます。

計画
2 学区全体で意識を高め、訓練やイベント等を通じて各町内で要配慮者への支援について話し合います。

方針
2 倒れない、
出火しない
「家づくり」

計画
3 訓練やイベント等を通じて住宅の耐震防火性能の重要性を広め、倒れない、出火しない家づくりを促します。

計画
4 住宅や路地、街並み等日常の暮らしを豊かにすることが防災にもつながることを伝え、楽しく取り組む防災活動を広めます。

方針
3 逃げられる
「道づくり」

計画
5 避難ルート、集合場所について、みんなが知り、活用するように見直し、マイ・タイムラインも活用することで、命を優先した避難対策に取り組みます。

計画
6 マンション等の共同住宅単位での避難について、学区として取り組みます。

方針
4 居心地よく、
もしものときも
安全な
「路地づくり」

計画
7 学区に多く残る昔ながらの路地を大切にする意識を高めるとともに、安全対策に取り組みます。

計画
8 路地への愛着を高めるために、路地の愛称づくりに取り組み、地域全体で管理ルールをゆるやかに定めます。

方針
5 「空き家・空き地」
の管理、活用

計画
9 空き家の所有者を把握し、耐震性を確保した上で、多様な活用を進めます。